

令和6年度 西区自治協議会

委員交流ワークショップ 意見交換まとめ

2024.7.23/NPO 法人まちづくり学校・山賀

- 開催日時：令和6年6月28日（金）15：50～17：20
- 会場：西区健康センター棟1F 大会議室
- 参加者数：20名

4つの班で意見交換した内容のうち、2つのテーマについてまとめました。

■わが地域や活動する中で気になっていること（解決したい問題）

地域活動の担い手が不足していたり、活動が難しくなっている

- ・若者が地域におらず活気がない。（若者の地域活動への参加が課題）
- ・地域役員の担い手不足
- ・次世代の担い手不足
- ・自治会長の交代による自治会崩壊
- ・事業ができず、自治会がマンネリ化している。
- ・今年から自治会長になり地域をまとめることが大変
- ・地域活動の縮小
- ・睡眠不足（事務処理過大）

高齢化の進行による問題が増えている

- ・黒埼地区の要支援者が増加
- ・健康体力の低下
- ・老老介護が増えている。
- ・認知症のトラブルが増えている。
- ・若年層人口割合の低下による農地後継者不足

空き家が増えているが対策を考えている

- ・空き家の増加
- ホームページ作成しPRを始めた。
- 佐潟エリアには空き家に住みたいと探している人もいる(外国人など)ので、移住人口を増やしたい。

環境美化や整備が足りていない

- ・ポイ捨て
- ・ふるさと村ウォーターシャトル乗り場をきれいにしたい。
- ・私道の工事後のこぼこ
- ・インフラ整備
- ・地域拠点の作成が進んでいない。

交通マナーの悪化や移動手段の不足

- ・高齢者の運転マナー（車線のはみ出しなど）
- ・通院時の移動手段
- ・ライドシェア

弱者への支援が多くなってきている

- ・災害弱者への支援
- ・要支援の生徒が増えてきており、支援が大変だ。

あいさつの大切さを感じている

- ・あいさつ運動での良いあいさつ

小学生の教育状況が心配だ

- ・黒埼地区（4校区）の小学生の教育状況

特にない

- ・あまりない。幸せな生活を送っている。

■能登半島地震による、地域や自分の活動への影響や変化

地域内に不安や課題が広がっている

- ・地震で不安になっている人が多い、心の問題を抱える人がいる。
- ・復興に向けた課題は多い。
- ・暗いムード
- ・転出者増加で人口が減少、コミュニティ活動にも支障が出る。
- ・坂井輪中が使えないことで避難所の確保が心配（他は収容人数が少ないのではないか）
- ・街全体の改善はかなり難しい（個人での対策しかない?）。
- ・地割れの道がでこぼこ
- ・水道管の修繕

防災事業の重要性を再認識するとともに、新たな取り組みが行われ始めた

- ・自助力を高める講座・事業を行った。
- ・講演会の増加
- ・避難訓練の大切さを実感
- ・地域防災訓練が地域のメイン行事となっている。
- ・過去の地震の話を開くこと（新潟地震 60 年の語り部）から始まり防災学習を続けている。
- ・避難ルートを子どもたちに伝えたい。
- ・避難所でのテントの活用
- ・一時避難所の有効活用
- ・オレンジロードにポンプを設置した。

実際に起こったことで問題が明らかになった

- ・車での避難の問題が明らかになった。
- ・大人の防災意識が低い。
- ・避難所に TV がなく情報が得られない。
- ・災害が起きたときの具体化
- ・自治会長の立場での避難指示の難しさを実感

防災に対する意識がより強くなった

- ・震災を自分ごととして考えるようになった。
- ・防災意識の高まり
- ・自分で命守ること大事…他人を頼りすぎない。
- ・ハザードマップの確認が大事だとわかった。
- ・地震がきっかけで会う人と話すようになった（会話が增えた）。

交流が生まれた

- ・移転による環境変化で、新たな地域との交流が生まれた。

ボランティア活動が増えた

- ・地域ボランティアを会社でやっている。
- ・ボランティアを通して知識を深めることができた。
- ・支援活動を行うボランティアが増えた。
- ・柏崎からボランティアに来た方がいた（お礼ができてよかった）。
- ・能登支援で笹団子を寄付した。

■参加者のふりかえり（回収数：7）

Q1. ワークショップの内容

〈とても良かった〉 7

- ・それぞれの立場の方の考えを聞くことができた。
- ・地震対応,高齢化問題など共通課題があった。
- ・全く想像していなかった話題があり勉強になりました。
- ・多様で具体的なエピソードを対面で聞き、話すことができた。
- ・たくさんの委員とお話ができ。 (なかなか機会がなかったから)
- ・刻々と変わる地域事情、みなさんの活動がリアルに分かりました。
- ・勉強になりました。

Q2. 学んだことや気づいたこと

- ・個々の問題は色々だが、概ね、地域の高齢化が原因ではないか。
- ・高齢化に伴う問題である老老介護、認知症、空き家、危険運転等の悩んでいる実態を再認識した。
- ・高齢化社会の様々なひずみ
- ・高齢化、防災問題について、何が起きているか、どうしたらいいか、具体的な話が聞けた。
- ・共通の話題で、みんなで話すことでお互いを理解しあえることが一番よかった。
- ・みなさん活動していますね、頑張ってますね。
- ・液状化対策（藤橋さん）、地域情報発信（大谷さん）

Q3. 言い残したこと

- ・個々では対応できない問題でも、それぞれ、横のつながりをもつことによって、課題解決につながるのではないか。
- ・長く話しすぎる人が散見された。
- ・通常の本会では対話ができない。今回のような「交流」ができる会を今後も続けていっていただきたい。

